

● 総合計画とは？

総合計画とは、まちづくりの基本方針となる長期的・総合的な計画です。

市の目指すべき「将来像」を「基本構想」の中で示し、計画的な市政運営を進めていくための長期的な方針であり、市が実施するすべての施策についての方向を示すものです。

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画から構成されています。

● 総合計画の構成・計画期間

市では、平成19年度に『佐野市総合計画』を策定し、平成29年度までの11年間を計画期間として、各種施策を展開しています。

19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
基本構想										
前期基本計画			中期基本計画				後期基本計画			
実施計画			実施計画		実施計画		実施計画		実施計画	

● 後期基本計画について

このたび、平成25年度で「中期基本計画」が終了したことから、新たに4年間を計画期間とする「後期基本計画」を策定しました。

総合計画の総仕上げとして、この後期基本計画に基づき、市が目指す将来像「育み支え合うひとびと、水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」の実現に向けて、各種施策を推進していきます。

● 新たなリーディングプロジェクトについて

中期基本計画で位置付けた「観光立市」に加えて、後期基本計画では新たに「スポーツ立市」を市のリーディングプロジェクトとして、生涯スポーツ、競技スポーツ、スポーツツーリズムを推進することで、市勢の進展につなげていきます。

『佐野市総合計画 後期基本計画』の内容は、[市ホームページ「行政情報」→「計画・政策」](#)のページ、または政策調整課までお問い合わせください。

【リーディングプロジェクト】

● 「観光立市」とは？

「住んでよし、訪れてよし」の佐野市を築くことを目的とします。佐野市全体を地域資源ととらえ、地域の有効資源を活用し、満足度の高い地域づくりを行います。

後期計画においては、佐野ブランドキャラクター「さのまる」をけん引役に、佐野市を市内外にPRしていきます。

● 「スポーツ立市」とは？

スポーツは健康増進にとどまらず、人々に勇気や希望、夢や感動などを与え、その「力、魅力」は今後のまちづくりに活力をもたらすものです。

自ら行う「するスポーツ」、トップレベルの試合を観戦する「観るスポーツ」、スポーツ大会・イベントの運営を支援する「支えるスポーツ」などさまざまな形で市民がスポーツに親しみ、スポーツに対する愛着と情熱を醸成する中で、さまざまな施策に挑戦し、観光立市と並ぶ交流拠点としてのまちづくりを行います。



将来像	基本目標	政策	施策	リーディングプロジェクト	
<b>育み支え合うひとびと、水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市</b>	地域の特色を活かした快適なまちづくり	安心して安全に暮らせるまちづくり	消防・防災体制の強化 交通安全・防犯対策の推進 消費者保護対策の推進	<b>観光立市</b>	
		住みやすい快適なまちづくり	都市機能をもつ幹線道路の整備と計画的な地域づくりの推進 まちなかの活性化と公共交通網の整備 快適で質の高い住環境の整備 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理		
		環境にやさしいまちづくり	ごみの発生抑制と資源の有効活用 良好な生活環境と豊かな自然環境の保全 再生可能エネルギーの普及と省エネルギー対策の推進		
		やさしくふれあいのある健康福祉づくり	健康で安心して暮らせるまちづくり		心と体の健康づくりの推進 地域医療体制の充実
			安心して子育てのできるまちづくり		こどもの健やかな成長と子育て支援 子育てと仕事の両立支援
			助け合い生きがいを実感できるまちづくり		豊かで健やかな長寿社会の実現 障がい者の社会参加と自立の推進 地域福祉の推進と生活保障の充実
		魅力と活力ある産業づくり	産業振興で活力のあるまちづくり		都市型農業の推進と中山間地域の活性化 活力ある商業・鉱工業の振興 北関東自動車道沿線開発と企業誘致の促進
			観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		ひとを集める観光戦略の展開 魅力ある観光資源の開発と整備 都市ブランド戦略の推進
			豊かな心を育む教育・文化づくり		豊かな心と確かな学力を育むまちづくり
	生涯にわたり学びのあるまちづくり	生活を豊かにする生涯学習の推進 歴史・文化資源の継承と芸術・文化活動の推進			
	スポーツを軸とした人々が集まるまちづくり	生涯スポーツ・競技スポーツの振興とスポーツ環境の整備 スポーツツーリズムの推進			
	市民みんなでつくる夢のあるまちづくり	人権を尊重した市民参加によるまちづくり	市民と協働した地域づくりの推進 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現 市政情報の共有と広聴活動の充実		
		自立した行政経営によるまちづくり	効率的な行政経営の推進 持続可能な財政運営の推進 分権時代を担う職員の育成と人事管理		